

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第八十九話

「判官館と義経神社（伝説）」

（要約文）

「義経神社」は沙流郡平取町の郊外、本町の高台にある。祭神は源九郎判官義経公である。

義経神社の建立については、いくつかの説がある。

一つは寛政三年（一七九一年）に、場所請負人（幕府から行政を任された商人）の山田文右衛門が建立したという説。

山田文右衛門は、天明期に当主が渡道して以降、代々場所請負人として能力を発揮し、日高のコンブ産業を栄えさせた家柄である。文右衛門ゆかりの神社として、海の安全を祈願した「門別稻荷神社」があり、この神社にはかつて義経像が祀られていたという記録がある。文右衛門が義経神社の建立に関わっていても不思議ではないように思える。

二つ目は、寛政十一年（一七九九年）あるいは享和二年（一八〇二年）に、幕府の命によって近藤重蔵らの幕使が義経神社を建立したとする説だ。
近藤重蔵は江戸時代後期の幕臣であり

探検家で、幕府の命により北蝦夷と千島列島を五度探査している。その道中で平取を通り掛かり、アイヌの人々が義経を「ハンカン（判官）カムイ」と呼び崇拝しているのを知って、江戸の仏師に義経の木像を作らせたという。これを安置した小さな祠が義経神社の始まりと言われている。

そして、この義経神社は新冠と関わりがあるという説も存在する。文右衛門あるいは重蔵が義経の祠を建てた最初の場所は新冠の判官館城跡であり、のちに今の平取の地に移したと伝わっているのだ。

しかし、この説を裏付けるだけの痕跡は残っていない。興味深い言い伝えである。



平取町の義経神社

戸籍の窓

4月6日～5月5日までの届出分（敬称略）

●おくやみ申し上げます

土居キヌヨ 90歳 中央町
羽田 幸平 45歳 節婦町
盛川小重子 96歳 古岸
岩崎ミサオ 108歳 中央町

☆広報に掲載してほしい方は届出のとき、町民生活課町民生活グループ住民係へお申し出ください。

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

【消防団員募集のお知らせ】

地域の安全を守るために、一緒に行動しませんか？
消防団で地域の安心を築きましょう！
地域の安全を守るために、あなたの力が必要です！

消防署新冠支署

火災・救急出動状況（ ）かっこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
4月	0件（0件）	34件（21件）	3件（2件）
8年1～4月	0件（1件）	120件（103件）	8件（4件）

区分	発生件数	死者	傷者
4月	0件（1件）	0人（0人）	0人（1人）
8年1～4月	0件（2件）	0人（0人）	0人（2人）

交通事故発生状況（ ）かっこ内は前年同期

人のうごき

（令和8年4月末現在）

人口 4,909人（前月比 + 1人）
男 2,513人（前月比 + 12人）
女 2,396人（前月比 △ 11人）
世帯 2,835世帯（前月比 + 13世帯）

町公式ホームページ 町公式フェイスブック

